

令和7年度 外国学校経験者特別入試

筑波大学 人間学群 教育学類

「小論文」問題

試験実施日：令和6年11月28日

実施時間：午前10：00～12：00

〔解答上の注意〕

- 1 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子1冊、解答用紙4枚、下書き用紙2枚が配布されていることを確認しなさい。問題冊子は表紙を含めて4頁あります。
- 3 解答に当たっては、指定された解答用紙をそれぞれ使用しなさい。
- 4 解答は、指示がない限り、日本語で書きなさい。
- 5 採点対象となるのは解答用紙だけです。
下書き用紙に書かれた内容は採点の対象となりません。
- 6 質問がある場合や、気分が悪くなった場合は、手を挙げなさい。

〔回収上の注意〕

- 1 4枚の解答用紙を、問題番号順に重ねなさい。重ねたまま回収します。
- 2 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

問題 『教師と人権教育 (*Teachers and Human Rights Education*)』 から抜粋した以下の英文を読み、各設問に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

注釈

- *1 entitlement 権利
- *2 uphold 保障する
- *3 infringe 侵害する
- *4 persist 根強く残る
- *5 immense 非常に大きい
- *6 censure 厳しく非難する

出典：Osler, A., & Starkey, H. (2010). *Teachers and Human Rights Education*. Trentham Books Ltd, pp. 16-18.

問 1 下線部（ア）を日本語に訳しなさい。

問 2 下線部（イ）が意味することを本文に即して具体的に説明しなさい。

問 3 下線部（ウ）に含まれる “communities characterised by diversity” が意味することを本文に即して具体的に説明しなさい。

問 4 本文の内容から子どもや若者が人権や自身の権利について学ぶことに関わる論点を一つ選び、教育における課題と今後求められる取り組みについて、あなたの考えを述べなさい（自分の学校教育経験を踏まえてもよい）。問 4 用の解答用紙を使って 600 字以上 800 字以内で述べること。また、解答用紙冒頭の所定の欄に論点がわかるようなタイトルを記入すること。